

## みどりの杜俳句会

秋雨の止むや青菜のたねを蒔く

飯野はつ志

御堂への前山の土手草茂る

梅沢 時江

紅生姜散らし七夕おやき売る

鈴木 啓子

草の伸び早さ草刈追ひ付かず

梅澤きくえ

無口なりし旧友と会ひ星今宵

西 ツル

盆参り出来ず夫に手を合はす

田村 好子

テラスより雷雨吹き込み大騒ぎ

吉田 愛子

梅雨晴れ間同窓の顔揃ひけり

小宮 勉

門畑に山百合香り主留守

野口利江子

川風にニセアカシアの花降り来

土屋 厚子

張り網に尾鰭絡みて鯉幟

初雁 功子

踏みどころなく真葛這ふ札所道

山田 美子



## 人権シリーズ

### 【セルフ・ネグレクトについて】

(418)

ネグレクトとは他者による世話の放棄や放任とされています。それに対しセルフ・ネグレクトは「自分自身の世話の放棄・放任」を意味します。

具体例としては、いわゆるゴミ屋敷や多数の動物の放し飼い、医療やサービスの繰り返し拒否などにより、健康に悪影響を及ぼすような状態に陥ることなどがあり、場合によっては生命にかかわる場合もあります。

自己放任だから、その結果についても本人が責任を持つべきと考える人がいるかもしれませんが。しかしセルフ・ネグレクトに陥った本人は、自らを客観視できずにSOSを発しないことが多く、認知症や疾患等により支援を求める力が低下している場合もあります。

特に高齢者は積極的に自己主張することが少なく、「自分でなんとかできる」「大丈夫だから来なくてよい」などと、支援を拒否することも多いです。そうした人の中には、本当は背中を押してほしいのに、遠慮して本心を言えないという人が少なくありません。

身近にそうした状況に陥った人がいるのに気づいたら、まずは「声がけ」していただくことが大切です。また地域の民生委員活動や福祉ボランティアなど、孤立している人を発見し支援する「見守り活動」を今後も推進していく必要もあります。本人の自尊心や尊厳を守りながらの活動となり、すんなりいかないこともあります。が今後多方面の方々のご協力をいただき、全ての住民が住みやすい社会を目指していきたいと思っています。

東秩父村保健衛生課長 栗島 正行

## アートの世界

雪が降りしきる春の和紙の里を撮りました。10代の頃から写真を趣味にして60年ほどの歴になります。母校大河原中学校の跡地に建てられた和紙の里は、毎年違う表情を見せてくれるので、毎年写真を撮りに出かける好きな撮影スポットです。



「和紙の里 春」

撮影者 写友会

栗島 富雄さん（御堂）